

京都市北部の周辺地域等における総合的な下水処理対策について

京都市では、快適で衛生的な市民生活の確保や河川の良い水環境保全のため、下水道の整備区域を着実に拡大し、その普及率は 99.1% に達しています。

しかしながら、比較的人口密度の高い未整備の地域では、下水道整備を待ち望む声が大きく、とりわけ観光地は汚水量も相当量であることから、下水処理対策が喫緊の課題となっていました。

そこでこのたび、市北部地域の皆様の快適な暮らしを支え、大原、鞍馬、高雄などの観光地や下流域の水環境を守るため、延べ約 5.3 km に及ぶ下水道の整備と家庭用浄化槽の設置促進による、総合的な下水処理対策に着手することとしましたので、お知らせします。

京都市全域の生活排水処理率 100% の実現に向け、この対策を推進していきます。

1 下水道の整備

(1) 事業名称

京都市北部地域特定環境保全公共下水道事業

(2) 整備区域 ... 別紙参照

大原、静原、鞍馬、高雄の 4 地域

対象面積は、125.6 ヘクタール

(3) 整備内容

延べ約 5.3 km (京都 - 大阪間は約 42.8 km) に及ぶ下水道管等を整備し、
1,465 戸 (4,310 人) のご家庭等に下水道を接続

(4) 総事業費

約 7.9 億円

(5) スケジュール

平成 19 年度 国土交通省への事業認可の申請・取得

平成 20 年度 ~ 実施設計

平成 21 年度 ~ 工事に着手

順次、供用開始

平成 26 年度 4 地域の整備を完了

2 家庭用浄化槽の設置促進

下水道の整備対象外の地域における下水処理対策として、現在実施している家庭用浄化槽設置の補助額、補助対象を拡充すると同時に、普及啓発を進める。

(1) 補助率の拡充

現行の補助率約 40 % を、平成 20 年度から 50 % に引き上げる。

この措置により、浄化槽設置時の市民負担は約 10 万円軽減する。

(例) 7 人槽モデル 98 千円 (現行 615 千円 見直し後 517 千円)

(2) 浄化槽の共同設置に対する補助制度の創設

住宅が隣接している場合や、世帯単独での設置が困難な高齢者世帯等の浄化槽設置を促進するため、平成 21 年度から、複数戸が共同で設置する浄化槽への補助制度を創設する。

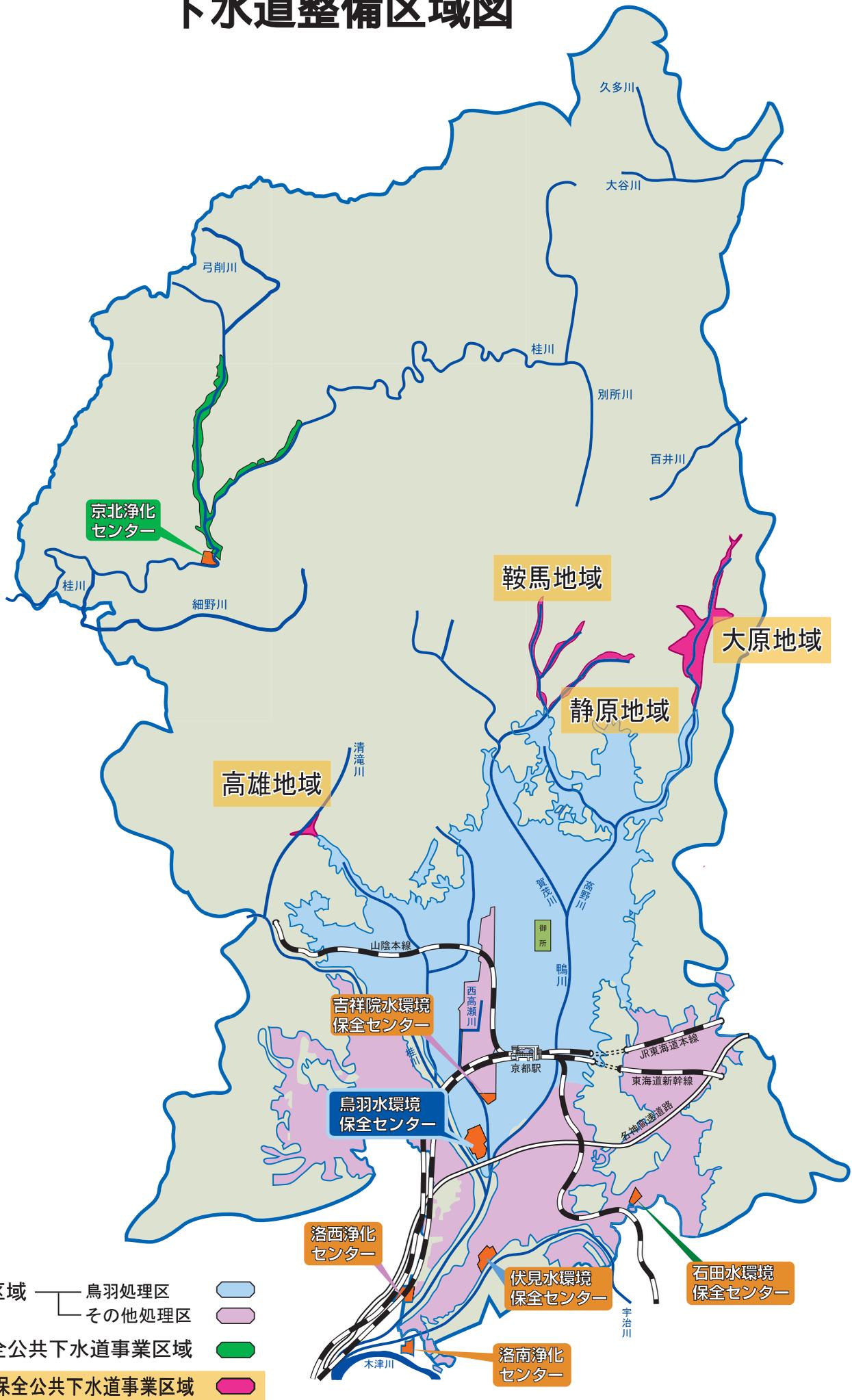
【参考 1】 京都市全域の生活排水処理の状況，対策

	下水処理の方法，対策	対象人口 (人)	割合 (%)
整備済 地域	下水道整備等	約 1,457,800	99.1
	浄化槽設置	約 4,400	0.3
未整備 地域	大原など 4 地域の下水道整備	約 4,300	0.3
	浄化槽の設置促進	約 4,100	0.3
備考		合計 約 147 万 600 人	整備後の 生活排水処理率は 100 %

【参考 2】

浄化槽 ... 生活排水を微生物の働きを利用して処理し、清浄な水にして河川などに放流する設備

下水道整備区域図



- 公共下水道事業区域
 - 鳥羽処理区
 - 其他処理区
- 京北特定環境保全公共下水道事業区域
- 北部地域特定環境保全公共下水道事業区域